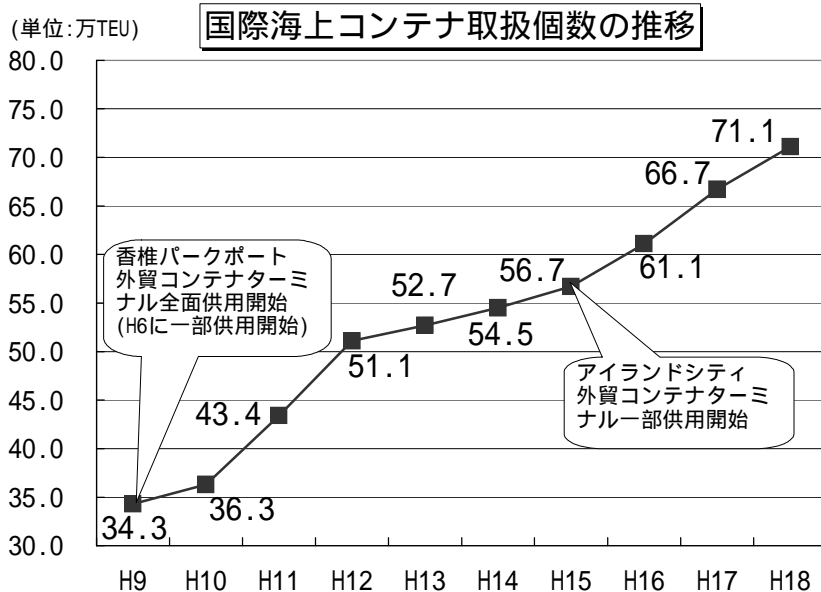


# TOPICS

## 平成18年国際海上コンテナ取扱個数 71万801TEU(前年比6.6%増)、過去最高を更新

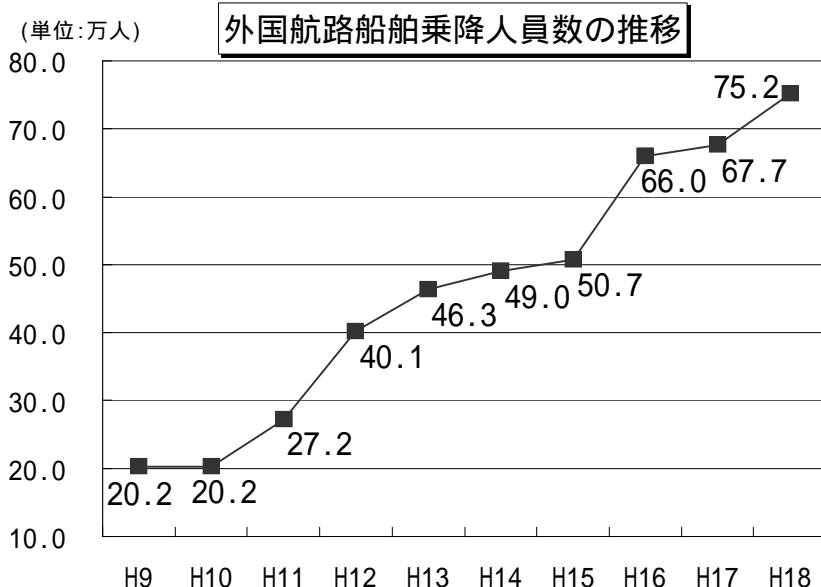
輸移出は、「電気機械」(同144.5%)や「完成自動車」(対前年比226.7%)等の増加により、約1.6万TEU増加した。輸移入は、「取合せ品」(同349.8%)や「日用品」(同111.2%)等の増加により、約2.8万TEU増加した。



TEU(Twenty-foot Equivalent Unit): コンテナを数えるときの単位で、20フィート換算個数のこと。  
20フィートコンテナ1個が1TEU、40フィートコンテナ1個が2TEU。

## 平成18年外国航路船舶乗降人員 75万1,688人(前年比11.0%増)、過去最高を更新

博多港の外国航路乗降人員は、平成5年以降全国第1位を記録し続けており、平成18年は観光旅行等で日本を訪れる韓国人旅行者が引き続き増加し、総数75万1,688人と過去最高を更新した。  
(参考:平成17年実績では空港の国際線旅客者数と比較しても全国第6位)



- H 2.12 かめりあ就航(~H16.6)
- H 3.3 ビートル二世就航
- H10.5 ジェビ就航
- H12.3 スタークルーズ就航(~H13.9)
- H13.4 ビートル三世就航
- H14.2 コビー就航
- H14.9 コビー 就航
- H15.7 ジェビ2 就航
- H16.3 コビー 就航
- H16.7 ニューかめりあ就航

### 国籍別乗降人員数の推移

(単位:万人)

区分		H18	H17
日本人	人数	27.5	32.4
	構成比	36.6%	47.9%
韓国人	人数	46.1	33.9
	構成比	61.3%	50.1%
その他	人数	1.6	1.4
	構成比	2.2%	2.0%
合計		75.2	67.7

## 1. 入港船舶

入港船舶数は 36,387 隻（前年比 92.8%）、総トン数は 約 5,458 万総トン（同 100.5%）であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数 5,975 隻（同 96.2%）・総トン数 3,217 万総トン（同 104.4%）、内航は隻数 30,412 隻（同 92.1%）・総トン数 2,241 万総トン（同 95.4%）であった。図 - 1、表 - 1 参照

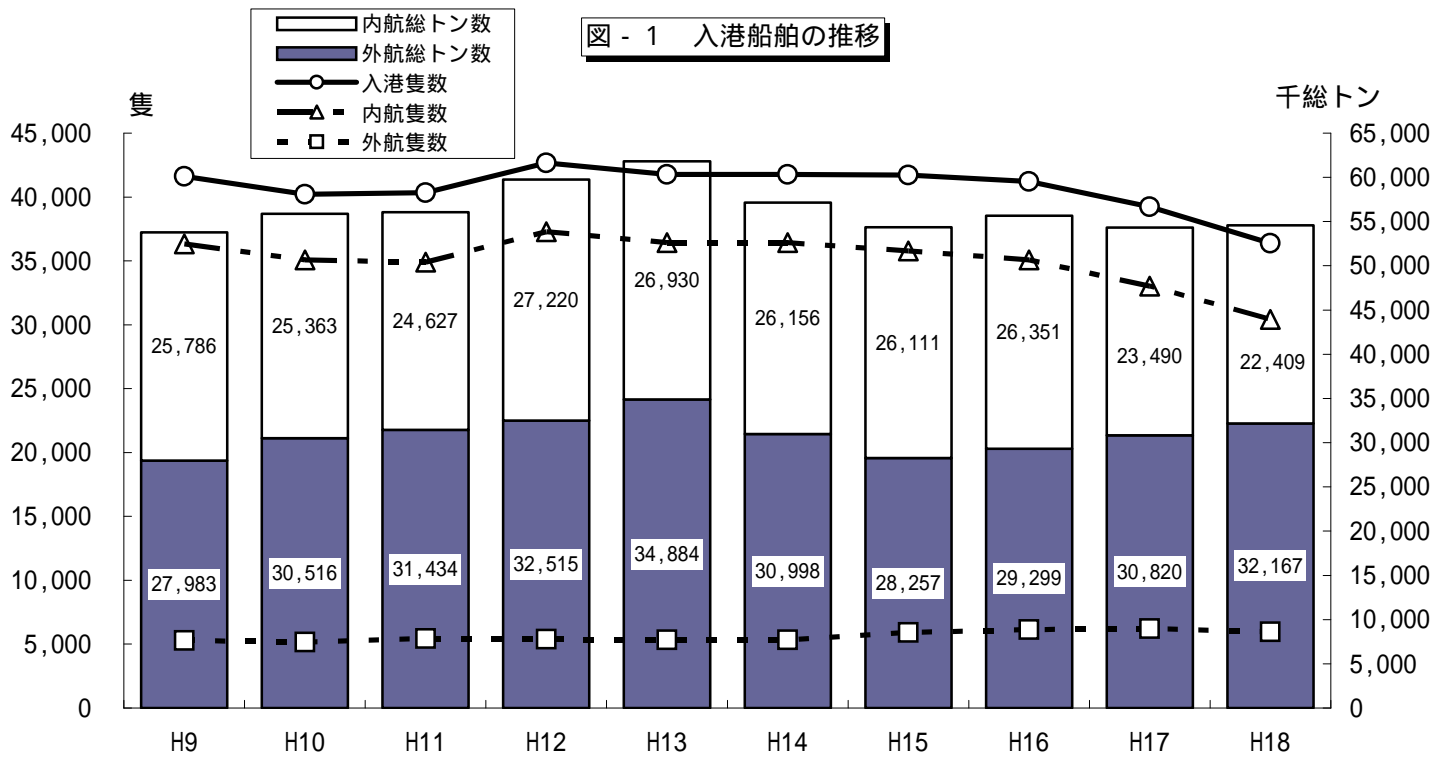


表 - 1 入港船舶の推移

(単位：隻、総トン)

区分	平成18年		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外航隻数	5,975	96.2%	6,213	101.3%	6,135	103.6%	5,923	109.4%	5,412
外航総トン数	32,167,011	104.4%	30,819,719	105.2%	29,298,553	103.7%	28,256,948	91.2%	30,997,602
内航隻数	30,412	92.1%	33,012	94.1%	35,073	98.0%	35,785	98.2%	36,439
内航総トン数	22,408,515	95.4%	23,489,554	89.1%	26,350,503	100.9%	26,110,952	99.8%	26,156,498
総隻数	36,387	92.8%	39,225	95.2%	41,208	98.8%	41,708	99.7%	41,851
総トン数	54,575,526	100.5%	54,309,273	97.6%	55,649,056	102.4%	54,367,900	95.1%	57,154,100

## 2. 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外国貿易 1,335 万トン（前年比 101.3%）内国貿易 1,585 万トン（同 86.9%）であり、総貨物量は 2,919 万トン（同 92.9%）であった。内国貿易が減少したのは、完成自動車等の自動車関連貨物が他港へ移管されたことが主な要因であった。なお、出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 27.8%・813 万トン、輸移入は 72.2%・2,106 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。 図 - 2、表 - 2 参照

図 - 2 海上出入貨物量の推移

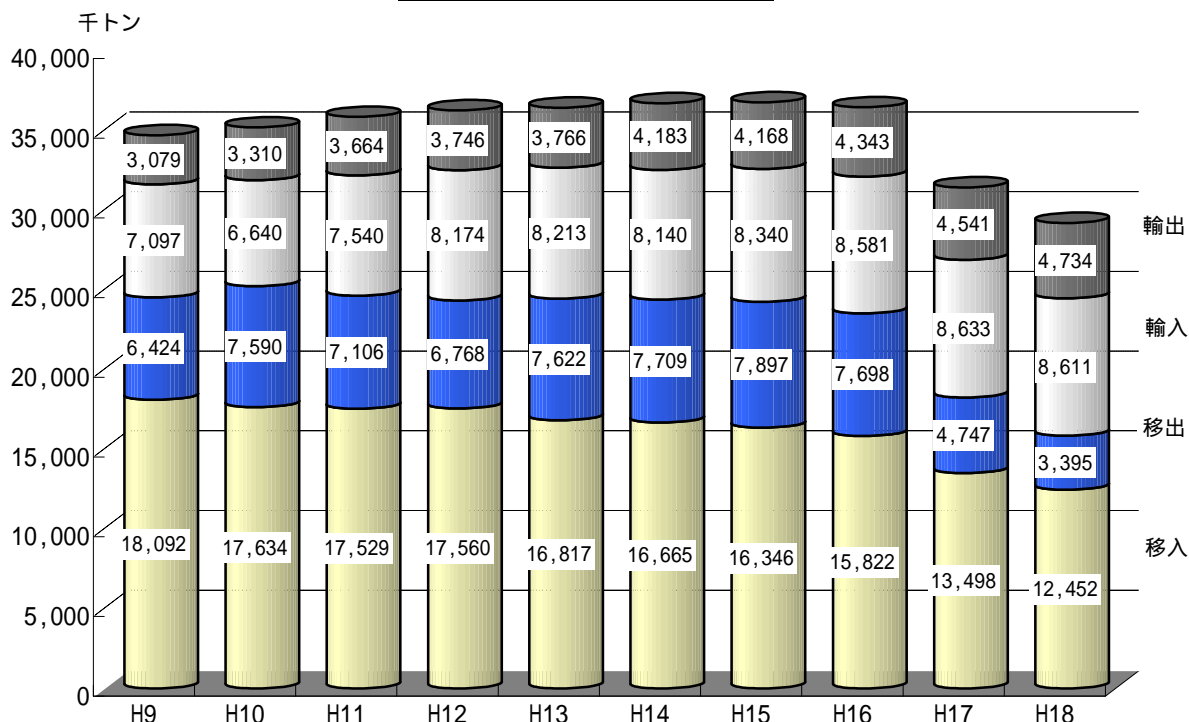


表 - 2 海上出入貨物量の推移

(単位：トン)

区分	平成18年		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易	輸出	4,734,296	104.3%	4,540,980	104.5%	4,343,410	104.2%	4,167,881	99.6%	4,182,807
	輸入	8,611,082	99.7%	8,632,775	100.6%	8,580,944	102.9%	8,340,160	102.5%	8,139,710
	計	13,345,378	101.3%	13,173,755	101.9%	12,924,354	103.3%	12,508,041	101.5%	12,322,517
内国貿易	移出	3,394,870	71.5%	4,747,238	61.7%	7,698,220	97.5%	7,897,381	102.4%	7,709,024
	移入	12,452,324	92.3%	13,498,353	85.3%	15,821,501	96.8%	16,345,751	98.1%	16,664,708
	計	15,847,194	86.9%	18,245,591	77.6%	23,519,721	97.0%	24,243,132	99.5%	24,373,732
総数	輸移出	8,129,166	87.5%	9,288,218	77.1%	12,041,630	99.8%	12,065,262	101.5%	11,891,831
	輸移入	21,063,406	95.2%	22,131,128	90.7%	24,402,445	98.9%	24,685,911	99.5%	24,804,418
	計	29,192,572	92.9%	31,419,346	86.2%	36,444,075	99.2%	36,751,173	100.1%	36,696,249

フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数は含まない。

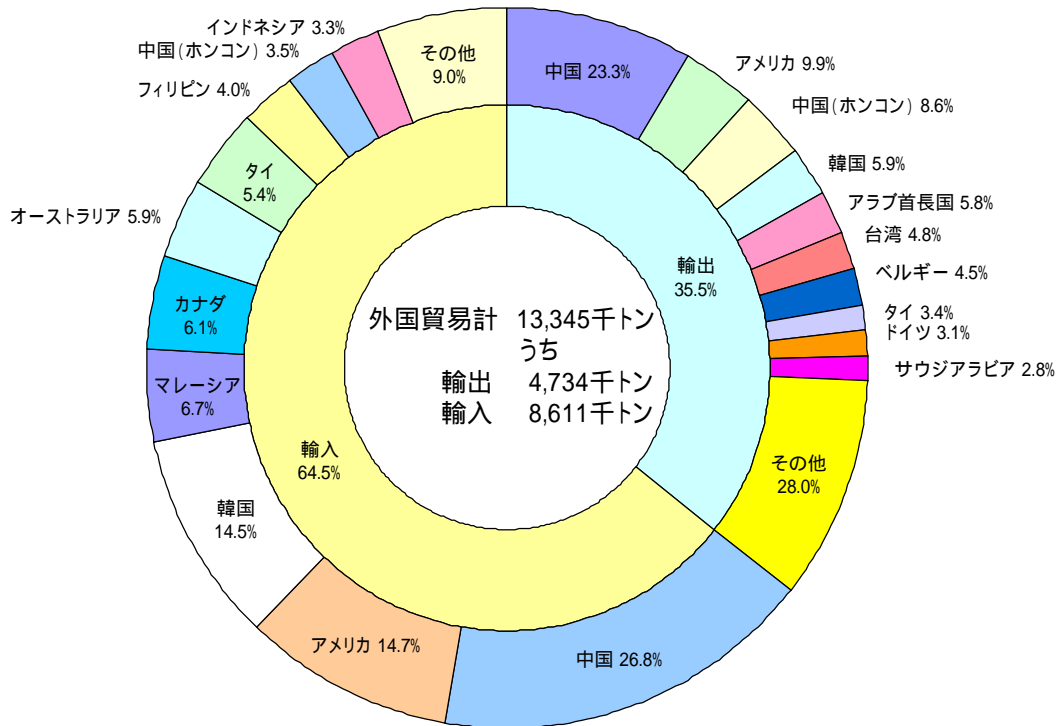
表 - 3 フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数の推移

(単位：トン)

区分	平成18年		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
移出	2,519,865	99.5%	2,533,120	97.7%	2,593,835	99.8%	2,598,900	111.2%	2,337,365
移入	2,537,385	98.9%	2,566,880	94.7%	2,711,345	98.3%	2,757,090	107.3%	2,570,230
計	5,057,250	99.2%	5,100,000	96.1%	5,305,180	99.1%	5,355,990	109.1%	4,907,595

## 2 - 1 . 外国貿易

図 - 3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



### 2 - 1 - 1 . 輸出

#### (1) 貨物量

輸出貨物量は4,734千トン(前年比104.3%)であり、外国貿易の35.5%を占めている。

図 - 3、表 - 2 参照

#### (2) 品種別

輸出貨物量4,734千トンのうち「ゴム製品」が1,725千トン(36.4%)、「再利用資材」が566千トン(11.9%)、「完成自動車」が483千トン(10.2%)であった。図 - 4・5、表 - 4 参照

図 - 4 輸出 4,734千トン

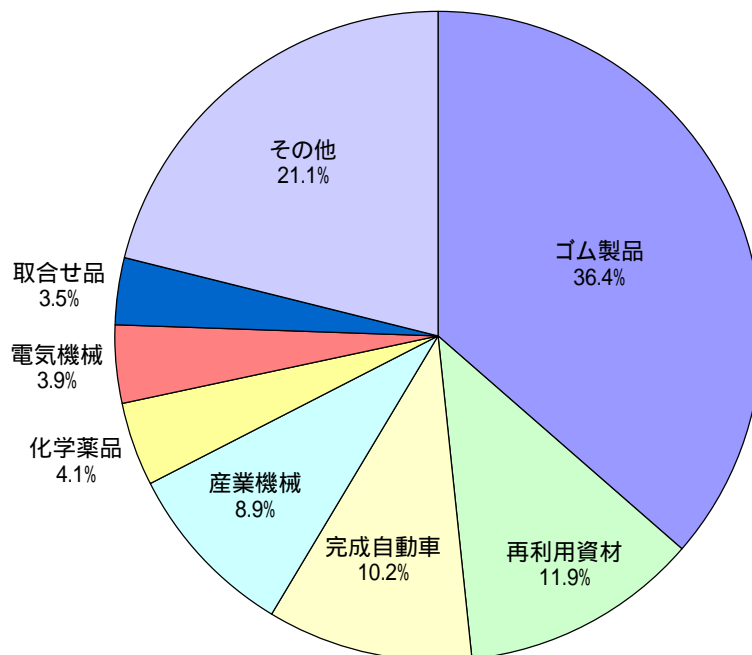
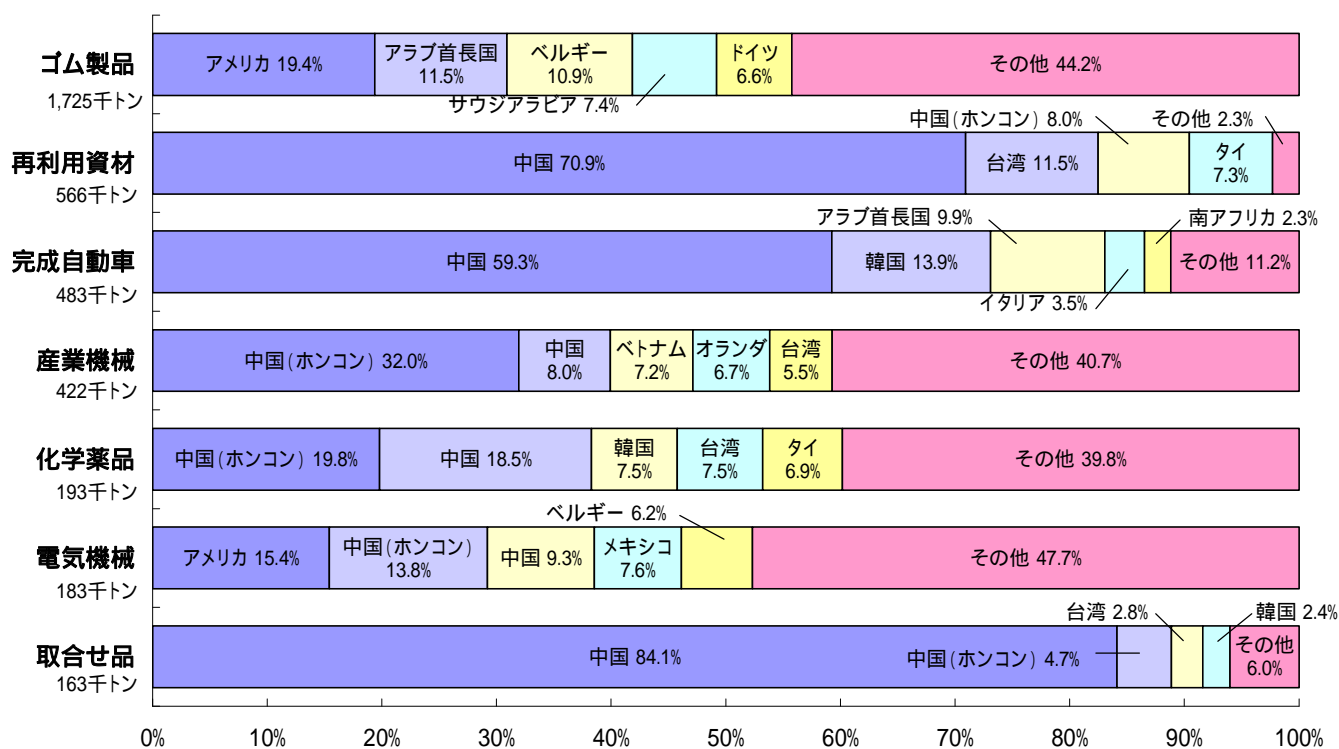


表 - 4 輸出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成18年	構成比	平成17年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	1,725,255	36.4%	1,835,954	40.4%	110,699	94.0%
2	再利用資材	565,702	11.9%	594,923	13.1%	29,221	95.1%
3	完成自動車	483,264	10.2%	86,362	1.9%	396,902	559.6%
4	産業機械	422,146	8.9%	433,819	9.6%	11,673	97.3%
5	化学薬品	192,975	4.1%	173,154	3.8%	19,821	111.4%
6	電気機械	183,320	3.9%	140,449	3.1%	42,871	130.5%
7	取合せ品	163,337	3.5%	357,162	7.9%	193,825	45.7%
	上記以外その他	998,297	21.1%	919,157	20.2%	79,140	108.6%
	合 計	4,734,296	100.0%	4,540,980	100.0%	193,316	104.3%

図 - 5 輸出上位7品種の相手国・地域



（3）主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が1,102千トン（23.3%）、アメリカが469千トン（9.9%）、中国（ホンコン）が406千トン（8.6%）、以下韓国、アラブ首長国と続いている。図 - 3、表 - 5 参照

表 - 5 輸出国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	中国	1,101,818	23.3%	980,598	21.6%	121,220	112.4%
2	アメリカ	469,472	9.9%	520,907	11.5%	51,435	90.1%
3	中国（ホンコン）	406,409	8.6%	368,987	8.1%	37,422	110.1%
4	韓国	277,674	5.9%	268,223	5.9%	9,451	103.5%
5	アラブ首長国	272,706	5.8%	242,916	5.3%	29,790	112.3%
6	台湾	229,603	4.8%	205,700	4.5%	23,903	111.6%
7	ベルギー	215,065	4.5%	229,228	5.0%	14,163	93.8%
8	タイ	159,122	3.4%	121,774	2.7%	37,348	130.7%
9	ドイツ	146,956	3.1%	163,107	3.6%	16,151	90.1%
10	サウジアラビア	130,711	2.8%	137,769	3.0%	7,058	94.9%
	上記以外その他	1,324,760	28.0%	1,301,771	28.7%	22,989	101.8%
	合計	4,734,296	100.0%	4,540,980	100.0%	193,316	104.3%

## 2 - 1 - 2 . 輸入

### （1）貨物量

輸入貨物量は8,611千トン（前年比 99.7%）であり、外国貿易の64.5%を占めている。

図 - 3、表 - 2 参照

### （2）品種別

輸入貨物量 8,611千トンのうち「動植物性製造飼肥料」が865千トン（10.0%）、「麦」が736千トン（8.5%）、「家具装備品」が673千トン（7.8%）であった。 図 - 6・7、表 - 6 参照

図 - 6 輸入 8,611千トン

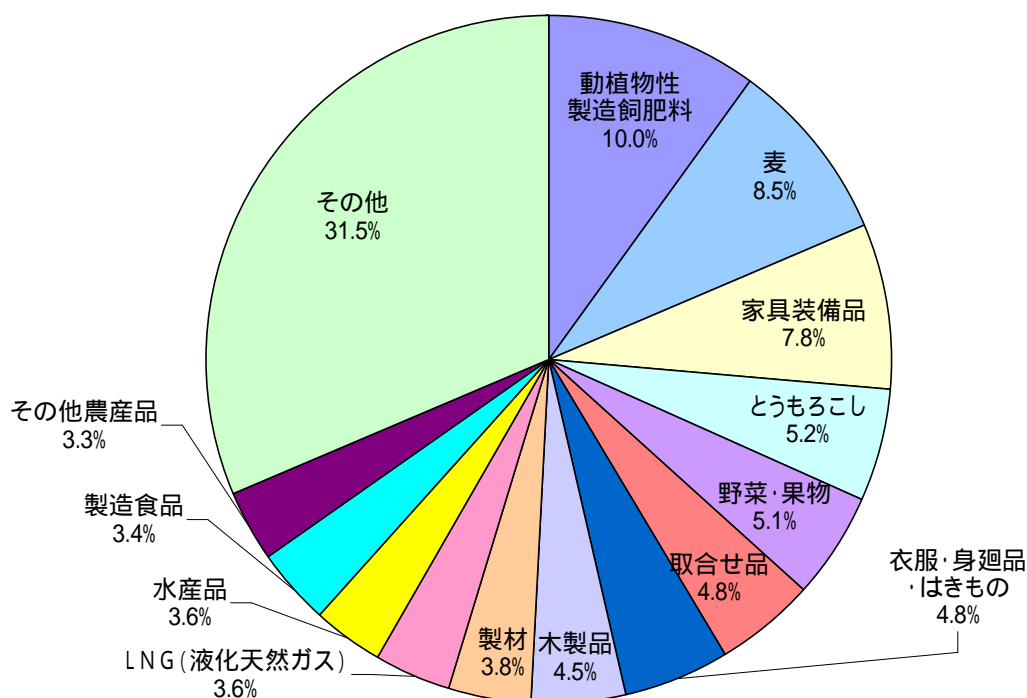
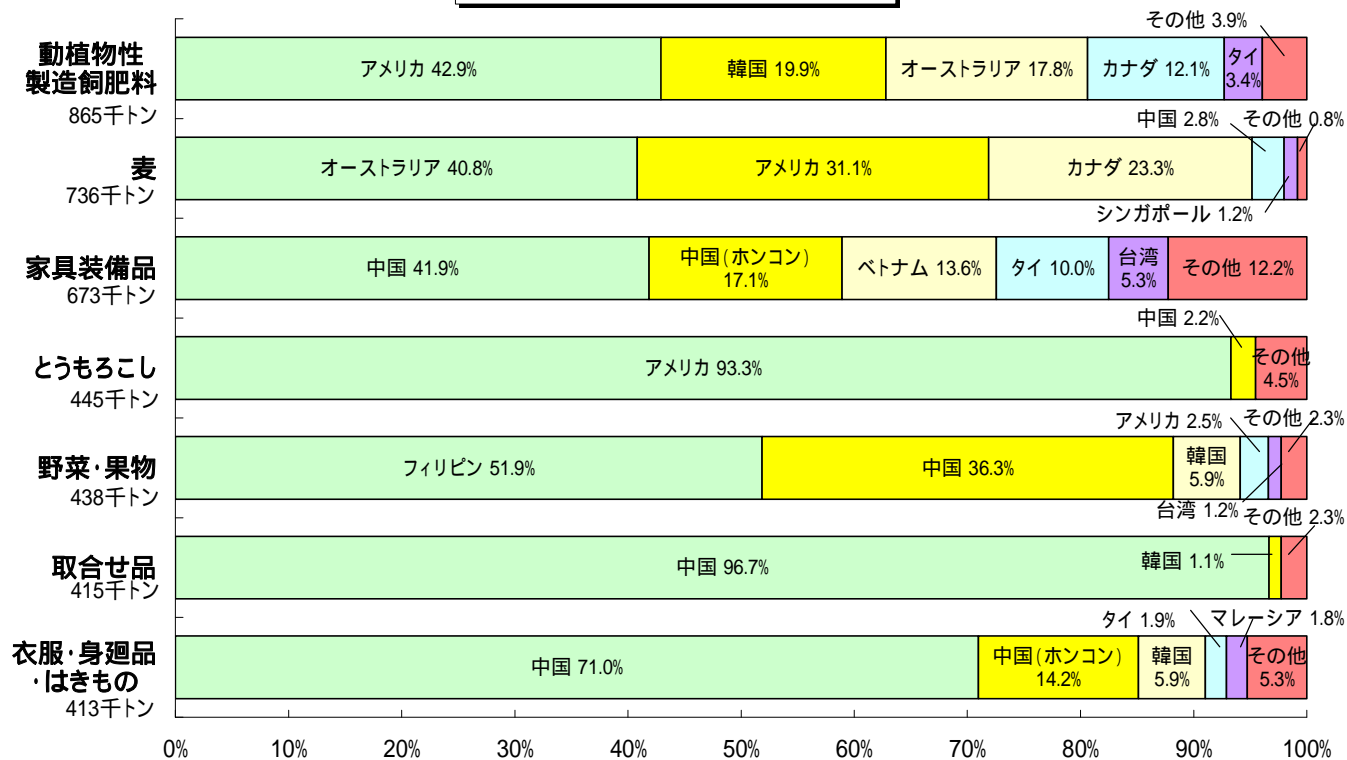


表 - 6 輸入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	動植物性製造飼肥料	864,656	10.0%	796,382	9.2%	68,274	108.6%
2	麦	735,695	8.5%	803,919	9.3%	68,224	91.5%
3	家具装備品	673,078	7.8%	660,064	7.6%	13,014	102.0%
4	とうもろこし	445,119	5.2%	490,571	5.7%	45,452	90.7%
5	野菜・果物	438,138	5.1%	504,203	5.8%	66,065	86.9%
6	取合せ品	414,727	4.8%	65,798	0.8%	348,929	630.3%
7	衣服・身廻品・はきもの	413,011	4.8%	393,928	4.6%	19,083	104.8%
	上記以外その他	4,626,658	53.7%	4,917,910	57.0%	291,252	94.1%
	合 計	8,611,082	100.0%	8,632,775	100.0%	21,693	99.7%

図 - 7 輸入上位7品種の相手国・地域



（3）主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が2,310千トン（26.8%）、アメリカが1,262千トン（14.7%）、韓国が1,251千トン（14.5%）以下マレーシア、カナダと続いている。 図 - 3、表 - 7 参照

表 - 7 輸入 国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最初船積国・地域名	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	中国	2,310,428	26.8%	2,023,153	23.4%	287,275	114.2%
2	アメリカ	1,261,719	14.7%	1,333,832	15.5%	72,113	94.6%
3	韓国	1,250,747	14.5%	1,356,928	15.7%	106,181	92.2%
4	マレーシア	579,341	6.7%	550,678	6.4%	28,663	105.2%
5	カナダ	527,825	6.1%	557,335	6.5%	29,510	94.7%
6	オーストラリア	510,716	5.9%	499,819	5.8%	10,897	102.2%
7	タイ	461,293	5.4%	469,843	5.4%	8,550	98.2%
8	フィリピン	343,463	4.0%	340,988	3.9%	2,475	100.7%
9	中国（ホンコン）	305,155	3.5%	270,132	3.1%	35,023	113.0%
10	インドネシア	284,637	3.3%	317,678	3.7%	33,041	89.6%
	上記以外その他	775,758	9.0%	912,389	10.6%	136,631	85.0%
	合 計	8,611,082	100.0%	8,632,775	100.0%	21,693	99.7%

## 2 - 2 . 内国貿易

図 - 8 内国貿易(移出相手都道府県別)

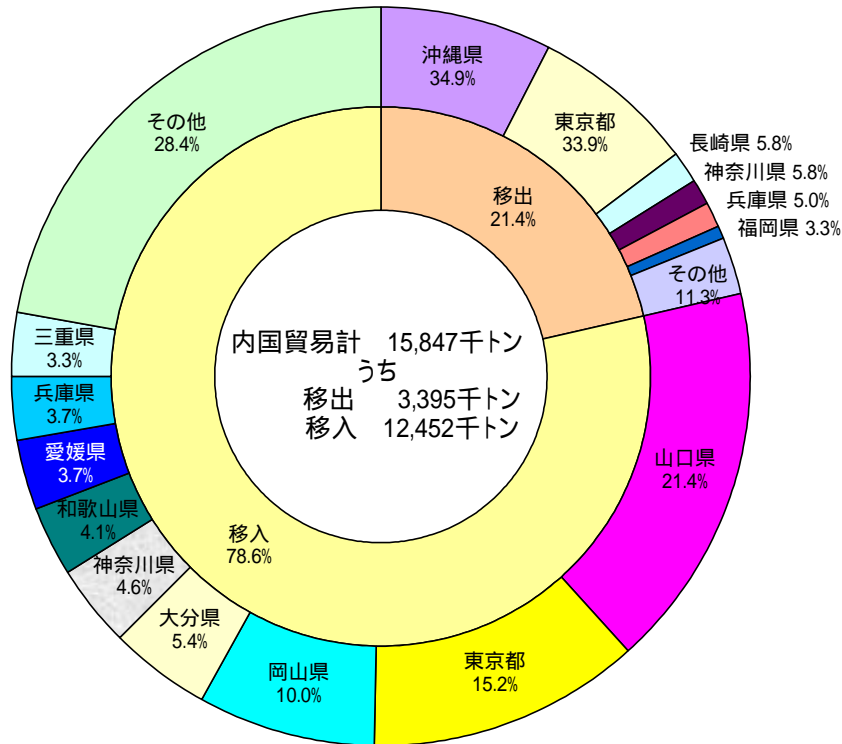


図 - 8・10・12 及び表 - 9・11 については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。



## 2 - 2 - 1 . 移出

### (1) 貨物量

移出貨物量は3,395千トン（前年比71.5%）であり、内国貿易の21.4%を占めている。

表 - 2、図 - 8 参照

### (2) 品種別

移出貨物量 3,395 千トンのうち「取合せ品」が 807 千トン(23.8%)、「完成自動車」が 569 千トン(16.8%)、「その他輸送機械」が 441 千トン(13.0%)であった。 図 - 9・10、表 - 8 参照

図 - 9 移出 3,395千トン

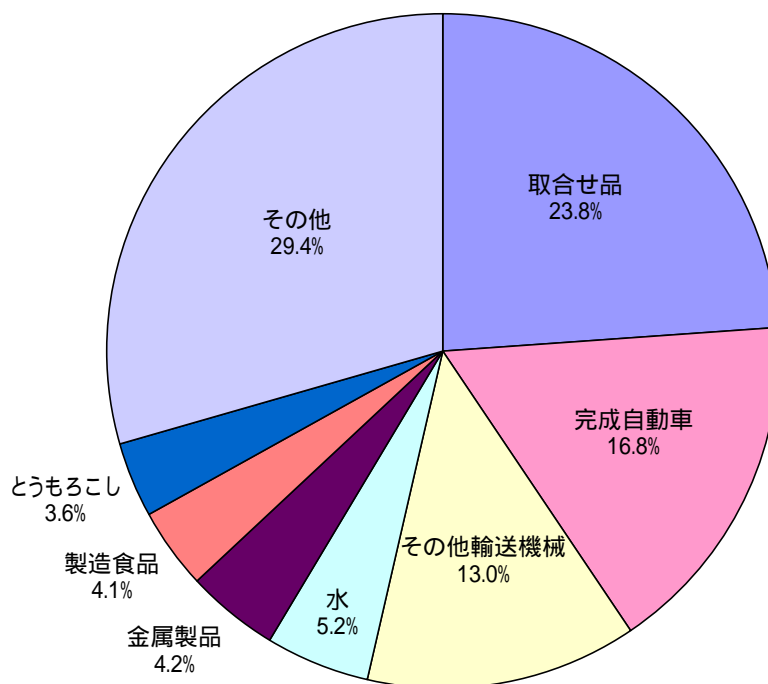
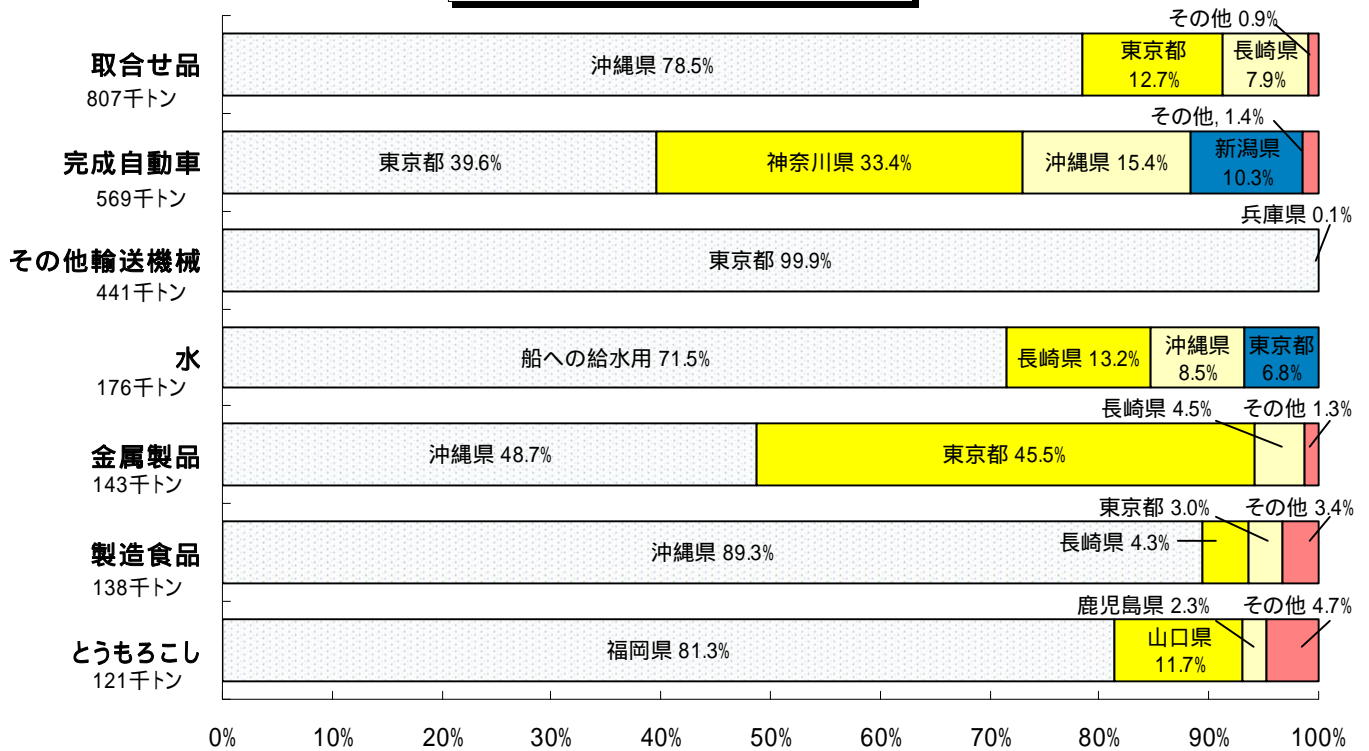


表 - 8 移出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	取合せ品	807,339	23.8%	819,834	17.3%	12,495	98.5%
2	完成自動車	569,164	16.8%	681,583	14.4%	112,419	83.5%
3	その他輸送機械	440,936	13.0%	1,692,858	35.7%	1,251,922	26.0%
4	水	175,810	5.2%	194,480	4.1%	18,670	90.4%
5	金属製品	142,997	4.2%	123,565	2.6%	19,432	115.7%
6	製造食品	137,551	4.1%	135,126	2.8%	2,425	101.8%
7	とうもろこし	121,442	3.6%	157,731	3.3%	36,289	77.0%
	上記以外その他	999,631	29.4%	942,061	19.8%	57,570	106.1%
	合 計	3,394,870	100.0%	4,747,238	100.0%	1,352,368	71.5%

図 - 10 移出上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移出相手都道府県別では、沖縄県が 1,183 千トン (34.9%)、東京都が 1,152 千トン (33.9%)、長崎県が 197 千トン (5.8%) 以下神奈川県、兵庫県と続いている。図 - 8、表 - 9 参照

表 - 9 移出 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

順位	仕向都道府県名	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	沖縄県	1,183,405	34.9%	1,192,034	25.1%	8,629	99.3%
2	東京都	1,152,086	33.9%	1,104,909	23.3%	47,177	104.3%
3	長崎県	196,591	5.8%	210,060	4.4%	13,469	93.6%
4	神奈川県	196,531	5.8%	36,614	0.8%	159,917	536.8%
5	兵庫県	169,868	5.0%	163,991	3.5%	5,877	103.6%
6	福岡県	111,767	3.3%	148,665	3.1%	36,898	75.2%
7	大阪府	92,016	2.7%	74,108	1.6%	17,908	124.2%
	上記以外その他	292,606	8.6%	1,816,857	38.3%	1,524,251	16.1%
	合計	3,394,870	100.0%	4,747,238	100.0%	1,352,368	71.5%

## 2 - 2 - 2 . 移入

### (1) 貨物量

移入貨物量は 12,452 千トン（前年比 92.3%）であり、内国貿易の 78.6%を占めている。

表 - 2、図 - 8 参照

### (2) 品種別

移入貨物量 12,452 千トンのうち「石油製品」が 4,359 千トン（35.0%）、「完成自動車」が 2,053 千トン（16.5%）、「砂利・砂」が 1,840 千トン（14.8%）であった。 図 - 11・12、表 - 10 参照

図 - 11 移入 12,452千トン

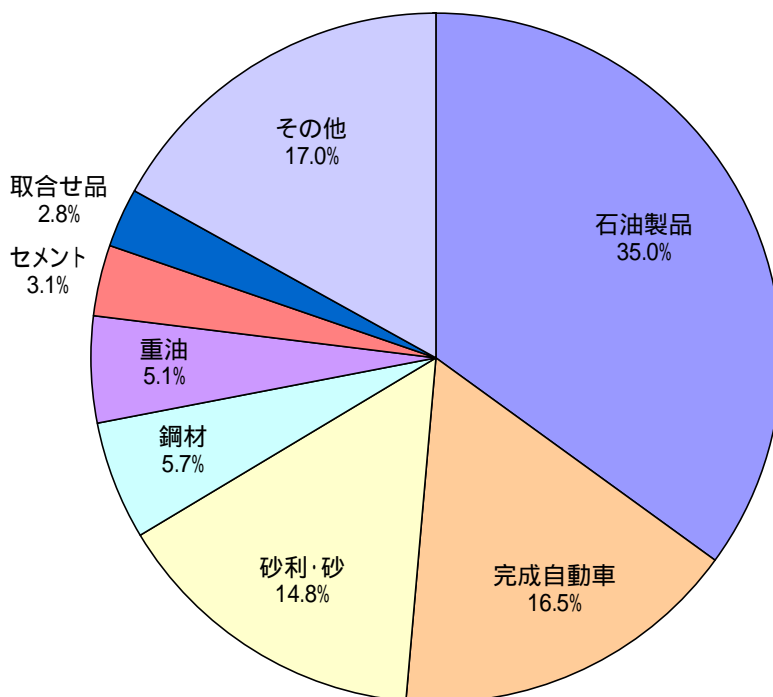
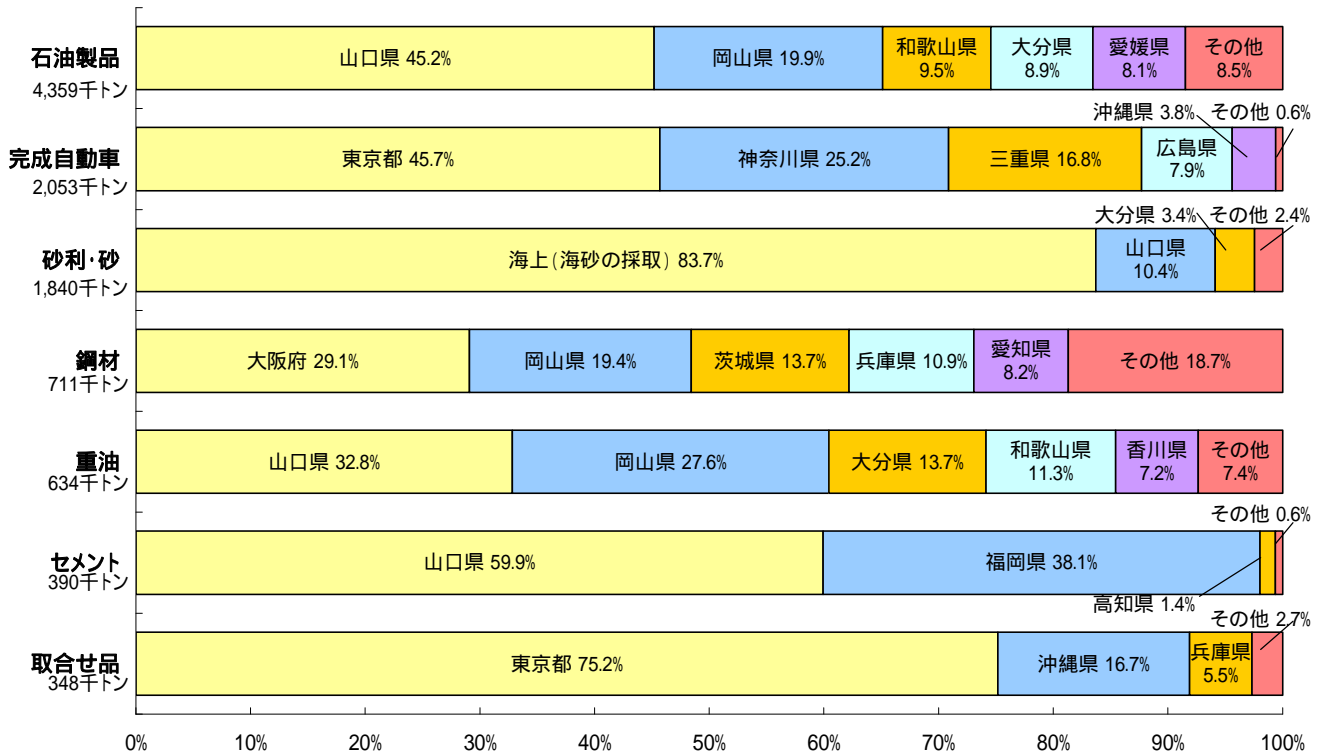


表 - 10 移入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	4,358,702	35.0%	4,432,701	32.8%	73,999	98.3%
2	完成自動車	2,053,442	16.5%	2,540,385	18.8%	486,943	80.8%
3	砂利・砂	1,839,704	14.8%	1,615,024	12.0%	224,680	113.9%
4	鋼材	710,912	5.7%	720,638	5.3%	9,726	98.7%
5	重油	633,635	5.1%	727,406	5.4%	93,771	87.1%
6	セメント	389,778	3.1%	343,979	2.5%	45,799	113.3%
7	取合せ品	347,553	2.8%	480,940	3.6%	133,387	72.3%
	上記以外その他	2,118,598	17.0%	2,637,280	19.5%	518,682	80.3%
	合 計	12,452,324	100.0%	13,498,353	100.0%	1,046,029	92.3%

図 - 12 移入上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が 2,671 千トン (21.4%)、東京都が 1,899 千トン (15.2%)、岡山県が 1,245 千トン (10.0%) 以下大分県、神奈川県と続いている。 図 - 8、表 - 11 参照

表 - 11 移入 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

順位	仕出都道府県名	平成18年	構成比	平成17年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,670,971	21.4%	2,630,434	19.5%	40,537	101.5%
2	東京都	1,898,599	15.2%	2,068,929	15.3%	170,330	91.8%
3	岡山県	1,245,497	10.0%	1,145,960	8.5%	99,537	108.7%
4	大分県	677,079	5.4%	774,608	5.7%	97,529	87.4%
5	神奈川県	577,786	4.6%	933,416	6.9%	355,630	61.9%
6	和歌山県	510,684	4.1%	582,394	4.3%	71,710	87.7%
7	愛媛県	465,078	3.7%	552,747	4.1%	87,669	84.1%
	上記以外その他	4,406,630	35.4%	4,809,865	35.6%	403,235	91.6%
	合計	12,452,324	100.0%	13,498,353	100.0%	1,046,029	92.3%

### 3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、710,801TEU（前年比 106.6%）であった。なお、ダイレクトコンテナは651,947TEU（同 105.0%）、フィーダーコンテナは58,854TEU（同 128.6%）であった。

図 - 13、表 - 12 参照

図 - 13 国際海上コンテナ取扱個数の推移

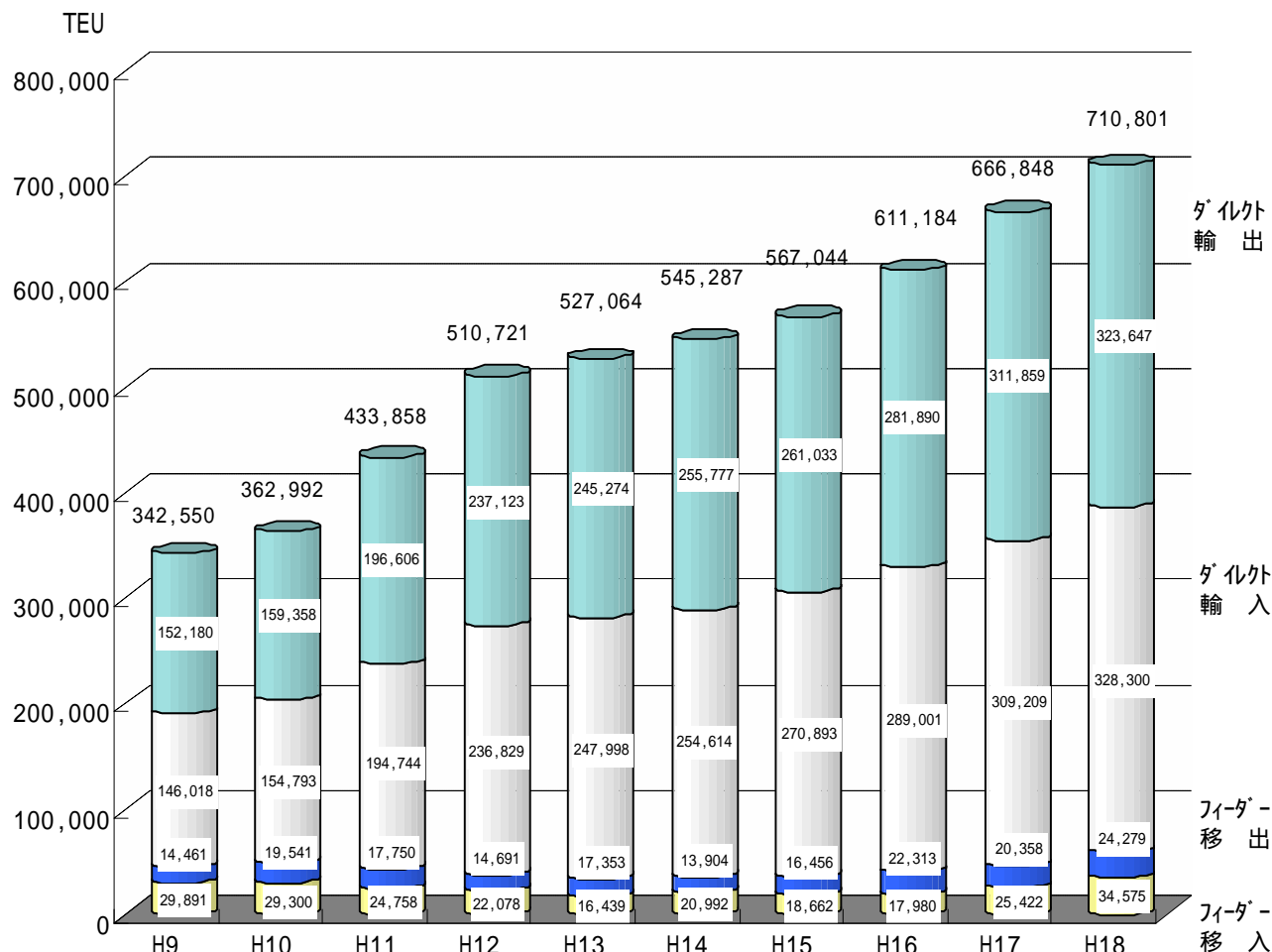


表 - 12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	323,647	103.8%	311,859	110.6%	281,890	108.0%	261,033	102.1%	255,777
	輸入	328,300	106.2%	309,209	107.0%	289,001	106.7%	270,893	106.4%	254,614
	計	651,947	105.0%	621,068	108.8%	570,891	107.3%	531,926	104.2%	510,391
内国貿易 (フィーダー)	移出	24,279	119.3%	20,358	91.2%	22,313	135.6%	16,456	118.4%	13,904
	移入	34,575	136.0%	25,422	141.4%	17,980	96.3%	18,662	88.9%	20,992
	計	58,854	128.6%	45,780	113.6%	40,293	114.7%	35,118	100.6%	34,896
総数	輸移出	347,926	104.7%	332,217	109.2%	304,203	109.6%	277,489	102.9%	269,681
	輸移入	362,875	108.4%	334,631	109.0%	306,981	106.0%	289,555	105.1%	275,606
	計	710,801	106.6%	666,848	109.1%	611,184	107.8%	567,044	104.0%	545,287

実入コンテナと空コンテナの合計値。

#### 4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が75.2万人（前年比111.0%）内国航路は125.7万人（同98.1%）となり、外内航あわせて200.8万人（同102.6%）であった。図-14、表-13参照

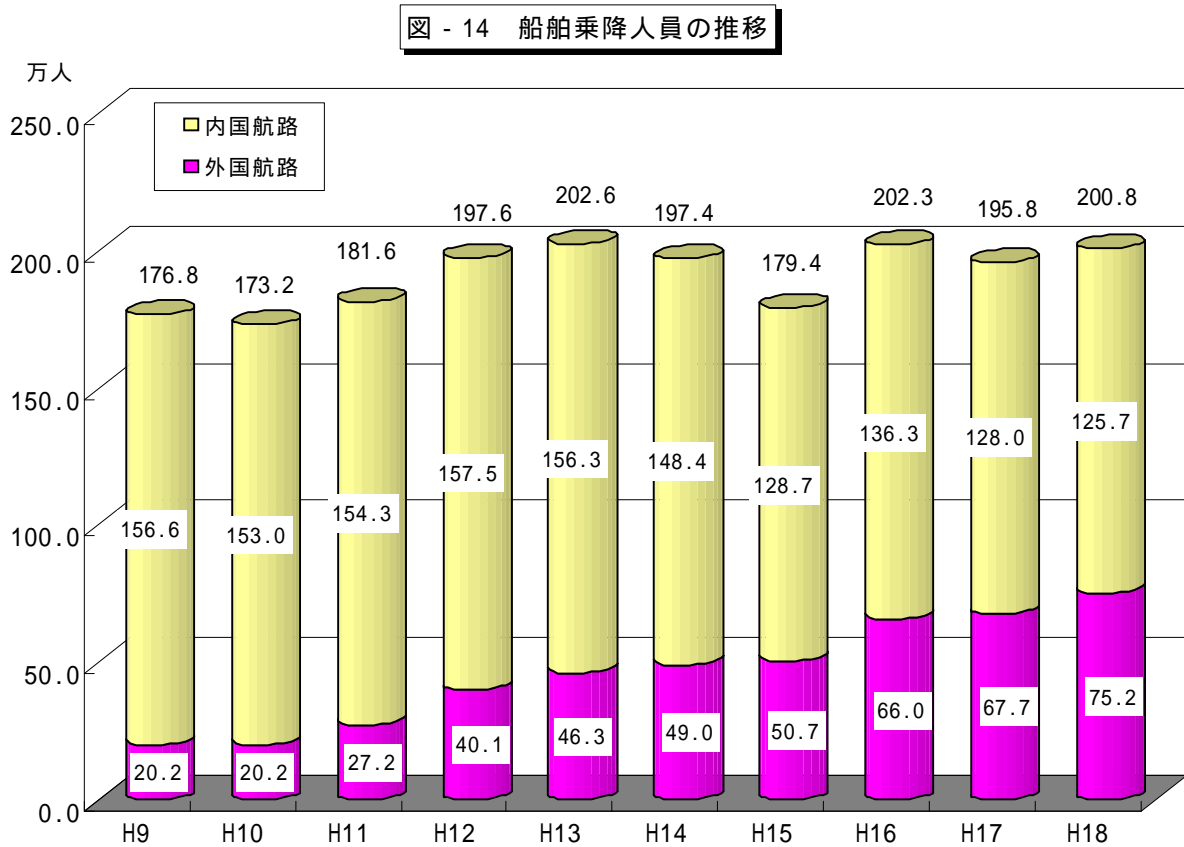


表 - 13 船舶乗降人員の推移

(単位：人)

区 分		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員
外国航路	乗込人員	376,251	111.3%	338,122	102.0%	331,465	129.7%	255,561	103.6%	246,684
	上陸人員	375,437	110.7%	339,263	103.3%	328,576	130.8%	251,178	103.4%	242,999
	計	751,688	111.0%	677,385	102.6%	660,041	130.3%	506,739	103.5%	489,683
内国航路	乗込人員	643,763	97.8%	658,509	94.1%	699,902	105.8%	661,309	87.0%	759,730
	上陸人員	612,814	98.5%	621,935	93.8%	663,177	105.9%	626,145	86.4%	724,381
	計	1,256,577	98.1%	1,280,444	93.9%	1,363,079	105.9%	1,287,454	86.7%	1,484,111
総 計	乗込人員	1,020,014	102.3%	996,631	96.6%	1,031,367	112.5%	916,870	91.1%	1,006,414
	上陸人員	988,251	102.8%	961,198	96.9%	991,753	113.0%	877,323	90.7%	967,380
	計	2,008,265	102.6%	1,957,829	96.8%	2,023,120	112.8%	1,794,193	90.9%	1,973,794